

# 人類と感染症との戦い



大阪国際感染症研究センターからの最新レポート

新型コロナウイルス感染症の出現により、私たちの生活は一変し、その影響はいまだ続いています。地球上には新型コロナウイルス感染症だけでなく、様々な感染症も存在し、我々人類は時としてその脅威にさらされることがあります。この状況下、わたしたちはどのように感染症に向き合えばいいのでしょうか。本講座では、感染症について正しい知識をわかりやすく説明いたします。

詳細は裏面をご覧ください▶



掛屋 弘

大阪国際感染症研究  
センター長  
大阪公立大学  
医学研究科 教授



椎木 弘

大阪公立大学  
工学研究科 教授



牛 冰

大阪公立大学  
経済学研究科 准教授



三宅 真実

大阪公立大学  
獣医学研究科 教授



金子 明

大阪国際感染症研究  
センター 国際総括  
大阪公立大学  
医学研究科 特任教授



朝野 和典

大阪国際感染症研究  
センター 事業総括  
地方独立行政法人  
大阪健康安全基盤研究所  
理事長

2023年

5/20 SAT ~ 7/22 SAT

10:30-12:00

各土曜日/全6回



- 会場：大阪公立大学 I-site なんば（大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル 2階）
- 定員：60名（申込者多数の場合は抽選） ■ 対象者：どなたでも ■ 受講料：5,000円（全6回分）
- 申込方法：本学Webサイト「申込フォーム」からお申し込みいただくか、「往復はがき」で(1)氏名(フリガナ)(2)年齢、(3)郵便番号・住所、(4)電話番号、(5)この講座を知ったきっかけをご記入の上、下記宛先へお申し込みください。  
※受講の可否は締切後5/10(水)までに通知します。届かない場合は必ずお問い合わせください。

■ 申込フォーム：右記二次元コードまたは大阪公立大学Webサイトからお申込みください。

■ 往復はがき宛先 ※返信用はがきは両面とも白紙でお送りください。

〒599-8531 堺市中区学園町1番1号 大阪公立大学 C5棟 社会連携課「人類と感染症との戦い」係

■ 問合せ先：大阪公立大学 社会連携課 Tel 072-254-9942 Fax 072-254-6271

新型コロナウイルス感染  
拡大の状況により、  
本講座は変更・中止と  
なる可能性があります。

申込締切  
4/30(日)  
必着

申込フォーム▼



大阪公立大学  
Osaka Metropolitan University

大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイト▶

大阪公立大学 公開講座



※お申込みの際の個人情報は、申込後の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。

## ◆大阪国際感染症研究センター◆

大阪国際感染症研究センターは様々な分野の専門家が集い、異分野融合型の「マクロ感染症学」を実践する人材の育成と研究の拠点です。大阪府市の政策提言に繋がる感染症対策の科学的根拠を国際的見地からも提供します。

### 第1回 5月20日（土）

#### 新型コロナが私達にもたらした影響～これからの感染症研究への期待

講師：掛屋 弘（大阪国際感染症研究センター長・大阪公立大学 医学研究科 教授）

新型コロナが興って3年が経過しました。ワクチンや治療薬の開発により、対処法も整いつつありますが、私達にもたらした影響は未解決です。本講義では未知の微生物と対峙したこれまでの振り返り、新たな感染症への備えを考えます。

### 第2回 5月27日（土）

#### ナノテクノロジーからの挑戦

講師：椎木 弘（大阪公立大学 工学研究科 教授）

見えない敵は脅威であり不安感を増幅させます。敵から身を守ったり、退治したりするためには、まずは見えない敵を見える化することが重要です。微生物を見るための新しい手法に関する取り組みを紹介します。

### 第3回 6月10日（土）

#### 健康・医療情報ニーズに関する実証分析と健康・医療情報の収集源の違いが感染予防行動に与える影響

講師：牛 冰（大阪公立大学 経済学研究科 准教授）

コロナ禍で健康・医療への社会の関心が高まる中、人々はどうのように健康・医療情報ニーズを持って情報収集をしているのでしょうか。また、健康・医療情報の収集源の違いは、ワクチン接種に対する意向など、私たちの感染予防行動にどのような影響を与えるのでしょうか。実際の調査から明らかにした研究結果を分かりやすく報告します。

### 第4回 6月24日（土）

#### コロナ禍と食の安全 ―感染性食中毒を中心に―

講師：三宅 眞実（大阪公立大学 獣医学研究科 教授）

地球規模のパンデミックは人々の食習慣を大きく変え、食の安全のあり方も大きく変化しました。コロナ禍は食の安全にどのような影響を与え、これから私たちは何に注意をする必要があるのか、具体例をいくつか取り上げ紹介します。

### 第5回 7月8日（土）

#### 大阪からマラリア根絶への挑戦

講師：金子 明（大阪国際感染症研究センター 国際総括・大阪公立大学 医学研究科 特任教授）

人類最古の感染症であるマラリアは、今なお貧困を背景に熱帯諸国に蔓延しています。COVID-19はそこに新たな局面を生みしました。バヌアツとケニアのマラリア流行地を紹介しつつ、感染症制圧の条件を問います。

### 第6回 7月22日（土）

#### 感染症との付き合い方

講師：朝野 和典（大阪国際感染症研究センター 事業総括・地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所 理事長）

新型コロナウイルス感染症以外にも感染症はたくさんあります。本講義では、現場で効果的に感染症対策を行う医療スタッフの対応法を紹介します。プロの対策を知って日常生活で感染症から身を守る方法を身につけましょう。

